



森ボラ 通信

第137号 2013年10月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

トピックス

◆ 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（その1）

かねてより申請していた、上記交付金の交付が決まったとの通知が9月9日付けで林野庁から北海道森林・山村多面的機能発揮対策協議会を経由して届きました。この交付金は今まで受けていた民間の助成金とは少し内容が異なるのでその概要を述べます。

1. 背景

森林は、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全等の多面的機能の発揮を通じて国民が安全で安心して暮らせる社会の実現や、木材等の林産物の供給源として地域と深く結びついた貴重な再生資源です。

しかし、山村の過疎化・高齢化、生活習慣の変化等から、薪炭材等を通じて地域住民を支えていた森林との関わりが希薄になってきました。特に集落周辺の里山林に代表される生活圏に隣接した旧薪炭林のような森林においては、藪化の進行や竹の侵入等により、森林の多面的機能の発揮が難しくなっています。

このため、林野庁では、地域住民が森林所有者、NPO法人、民間団体等と協力して活動組織を作り、森林の有する多面的機能を発揮させるための保全管理や資源を利用する活動に対して支援を行うこととなりました。

2. 活動組織

活動組織の構成員は、地域住民、森林所有者等地域の実情に応じた方(3名以上)で構成します。地域の自治会、NPO法人、森林組合等が単独又は1構成員となることも可能です。なお、活動組織は規約の作成、経理の区分が必要です。

この事業の対象となる森林は、森林経営計画が作成されていない森林で、活動組織と森林所有者とで利用協定を締結していることが必要です。要件を満たしていれば、学校林や公有林でも可能です。

3. 対象活動と支援単価

里山林の保全管理や資源を利用するために以下のような活動に対して、定額で助成を行います。

- ・活動計画作成費（助成単価：初年度のみ。15万円）

現地の林況調査、活動計画策定の話合い及び策定、研修等

- ・地域環境保全タイプ「里山林保全活動」（助成単価：16万円/ha）
- ・森林資源利用タイプ（助成単価：16万円/ha）
- ・森林空間利用タイプ（助成単価：5万円/回 *上限12回）

その他刈払機、チェーンソー、丸鋸、ウィンチ、軽架線、チップパー等の資機材の購入・設置には必要額の2分の1を助成します。（文・樫棒）

（その2）として来月号には当会の助成内容について説明します

■ 活動報告

◆ 「ローソン緑の募金」活動報告

9月28日(土) ローソングループの皆様方21名が札幌市澄川環境林へ集まり環境保全活動に参加しました。協会員13名と共に全員黄色いヘルメットを被って(子供は白)、秋晴れで野外活動には最適な一日でした。作業は昨年植樹した隣にミズナラポット苗38本、ヤチダモポット苗12本の植樹とローソン植栽エリアの下草刈りを行ないましたが、今回で3回目になり皆さん手際よく動き汗を流しておりました。



昼食は我が協会のシェフ、湯澤さんのマタギ鍋を堪能した後、林内散策では酒井さんが講師役として我々が目指している巨木の森への取り組み状況と森林セラフィーの効果(森林浴効果)等の説明に皆様は満足されていました。

佐野さんの講師役で進められた葉っぱ集めのネイチャーゲームでは子供に負けず大人も夢中になり大きな笑い声が森に響いていました。

最後に今回の助成金を活用して、春先から準備し無事に完成した物置小屋の横で、ローソンさんの横断幕と修理を終えた緑の募金看板と共に全員で“ハイ・チーズ”。秋の一日を楽しんだ一枚となりました。

今回、東京からローソンCSRのマネージャー深田様、そして昨年引き続き札幌市街づくり局の廣川様のご参加有難うございました。(事務局)

◆札幌ふるさとの樹木保全活動

未来に豊かな国土を引き継ぎ、東日本大震災を契機に高まったふるさとの絆を醸成するため、ふるさとのシンボリックな森林再生の取組を進める事業を、道緑化推進委員会の推薦に基づき募集が行われて当協会の申請が採用となりました。



ふるさとのシンボルとなる森林の造成や、植樹による森林の造成、希少性など価値ある森林の保護増殖、地域の象徴的な樹木で衰弱したものの樹勢回復措置等により「ふるさとの森林（もり）」を将来に亘って引き継いでいくための取組を行います。

8月北海道林業技士会西川会長の指導で澄川の森の代表樹種の候補は目下、シラカンバ、ミズナラ、ハルニレ、エゾヤマザクラ、ハリギリ、シナノキ、ホオノキ、ヤチダモ、イタヤカエデが有力視されています。

9月19日札幌工科専門学校の生徒16名と会員10名と一緒に保全活動を行いましたのでここに報告します。

ラジオ体操

先生の短い訓示の後にアイスブレイク替わりのラジオ体操をしてまずは体も心も解きほぐしました。3班に分かれて3コースの森林教室を兼ねた保全活動です。



毎木調査

酒井、石川、湯沢3人の案内で樹名を覚えながらの毎木調査をしました。輪尺で一人5本の計測ののちワイゼ測高器の使い方を学びました。真面目な生徒が多く予習で木の名前を憶えてきたそうですがその樹木辞典は本州の木が主で札幌の郷土樹種を改めて学びました。

植栽育林活動

檀棒、大窪、加藤の3人の案内で苗木の掘り取り植栽、葉もぎの後に刈り払い機でササの刈り払いをしました。樹木園の横はササの密生した未立木地で植栽しないと森に戻れないのです。ミズナラなどの裸苗の植栽には少し時期が早いのですが丁寧に扱い葉もぎで蒸散を制御すれば根づくことの実験でもあります。



集材造材活動

矢澤、釣井、高野、和田4人の案内でチルホールによる模擬集材とチェーンソーによる玉切練習をしました。生徒たちはこれから国有林や民間の林業会社に就職して行くわけで、実技でチェーンソーのエンジンを始動しての玉切りやウィンチの操作を行う実習は必ず役に立つはずで。



この学校とは10年近くのお付き合いです。私たちは若い学生が環境関連や林業関連の会社に就職したときに世の中には森林ボランティアがいて森の保全活動をしていることを思い出して欲しいのです。また遠い将来どこかのボランティア会員になってほしいのです。（文・酒井）

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・酒井・佐野・高野・西野(梯)・矢澤・和田

1. 2013年11月、12月スケジュール・・・幹事会11月12日(火)
2. 山林・山村多面機構発揮対策具体的対応・・・6月からの活動状況の確認と予算の推移
3. 盤溪の市有地の件・・・活用に付いては今後検討して行く
4. ホーマックと有明都市環境林共同活動のための現地調査
幼稚園児の活動の場としては適さない事を確認
5. 道民森づくりネットワーク開催(10/19 10:00 道庁赤レンガ前広場)
写真とコースター作りのための搬入品の確認(18日澄川で揃える)
6. 第二回理事会・・・11月25日(月)15:30 アークス本社 2F 会議室
7. 忘年会の件(12月11、12日)湯元 小金湯・・・下段の忘年会のお知らせを見てください
8. 活動関連・・・烏柵舞の森(10/25・26)オイスカ、ユネスコ植樹祭と準備の確認
9. 委員会報告 広報委員会・・・HPに札幌ふるさとの樹木を掲載予定
研修委員会・・・1月のセミナーは道新環境出前講座で対応
旅行委員会・・・研修旅行の会計報告
10. その他
 - ・社会貢献賞を受賞、授与式は12月17日(火)10:30(KKR札幌ホテル 丹頂)
 - ・澄川環境林基本計画室(仮称)の打ち合わせ・・・11月に2回実施予定(委員は構想を持って会議に参加の事)。

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月17日(火)	澄川	14	林内整備・薪作り
9月19日(木)	澄川	10	札幌工科専門学校野外研修支援
9月20日(金)	澄川	15	林内整備・薪作り
9月22日(日)	澄川	1	看板の修理
9月24日(火)	澄川	14	薪作り・烏柵舞の準備
9月25～26日	支笏湖烏柵舞の森	21/19	CGC ジャパン植樹祭の準備
9月28日(土)	澄川	13	ローソン現場学習
10月1日(月)	支笏湖烏柵舞の森	12	CGC ジャパン植樹祭支援
10月2～4日	九州大学足寄演習林	19	研修旅行(二泊三日コース)
10月8日(火)	澄川	13	林内整備
10月10日(木)	澄川/有明の森	12/6	林内整備/ホーマックと現地調査
10月11日(金)	ラルズビル	10	定例幹事

リンゴ園作業:9/17(1名)、9/18(5名)、9/24(7名)、9/26(1名)、9/27(8名)、9/30(6名)
10/3(1名)、10/5(1名)、10/9(6名)

お知らせ

2013年忘年会

とき:2013年12月11日(水)～12日(木)・一泊二日コース。
ところ:定山溪・湯元小金湯温泉
※明治時代から続く湯治の湯で師走の時をゆったいと。

かいひ:1万円(参加希望者は11月作業参加申込書で
申し込みをして下さい。)

